

下関市立大学附属リカレント教育センターが提供する
『地域創生マネジメント専門家養成プログラム』の概要

1 特別の課程の名称

地域創生マネジメント専門家養成プログラム

2 プログラムの目的及び3つのコースの特徴

目的	積極的な社会貢献を促進するため、大学が培ってきた経済分野、特に経営学的観点の研究成果等を活かし、地域社会の中心的な構成員（社会人）が地域創生の力を持てるよう、講義を通して地域内の課題解決に取り組むことで地域社会に貢献する人材の育成を目的とします。
----	---



コースの特徴	I インクルーシブ 教育 専門家養成コース	主に、教育現場でキャリアアップや専門性向上を求める現職教員の方や、教育現場への復職（教員や支援員等）を希望する過去に教職経験がある方、教育関係の就職を希望している方を対象にして、インクルーシブ教育の観点から子どもの特徴と義務教育課程における教育的ニーズを科学的に把握し、適切に対応するための指導プランを作成する専門家に必要な知識・技能を育成するコースです。
--------	--------------------------------	--

<p style="text-align: center;">Ⅱ</p> <p style="text-align: center;">子ども才能 マネジメント 専門家養成コース</p>	<p>主に、乳幼児教育の現場でキャリアアップや専門性向上を求める現職の保育士や幼稚園教諭、復職（保育士や幼稚園教諭、支援員等）を希望する過去に乳幼児教育経験がある方、乳幼児教育関係の就職を希望している方を対象にして、乳幼児教育の基礎から、乳幼児の概念形成の特徴を把握し才能を発掘するための分析能力を習得し、乳幼児とのかかわり方のアドバイスを行う専門家に必要な知識・技能を育成するコースです。</p>
<p style="text-align: center;">Ⅲ</p> <p style="text-align: center;">旅館マネジメント 専門家養成コース</p>	<p>主に、旅館や接客について体系立てた学びを活かしたいと希望する旅館やホテルの現場で働いている方、接客やそのマネジメントについて知りたいといったサービス業に従事している方を対象にして、旅館やホテルの宿泊業に関する基礎だけでなく、これからの社会を見据えた組織マネジメントやサービスのマネジメントのために必要な知識や技能を育成するコースです。</p>

※対象は受講資格ではありませんので、各コースの内容に興味がある方ならどなたでも受講可。

3 総時間数及び受講料

1年コース 60時間 (60,000円)

4 履修資格

下関市立大学学則第18条の規定により、本学に入学することができる者

5 定員

「地域創生マネジメント専門家養成プログラム」全体で1年間60名

6 内容

I インクルーシブ教育専門家養成コース

科学的に証明されている確立した理論を軸に、評価ツールを用いて、子どもの教育的ニーズを把握するための視点と分析能力を養う。

インクルーシブ教育専門家養成コース開講科目

『基礎科目群』	
教育的ニーズ分析法科目群	
I-基 1	インクルーシブ教育概論（全15講義）
I-基 2	インクルーシブ教育ニーズ分析法（全15講義）
I-基 3	インクルーシブ教育分析演習（全10講義）

II 子ども才能マネジメント専門家養成コース

乳幼児の概念形成を助け、才能を発掘するという観点で、乳幼児教育の基礎となる環境設計や乳幼児とのコミュニケーションについて考えながら学ぶ。

子ども才能マネジメント専門家養成コース開講科目

『基礎科目群』	
乳幼児教育基礎科目群	
II-基 1	乳幼児教育概論（全15講義）
II-基 2	乳幼児教育の環境設計/コミュニケーション（全15講義）
II-基 3	乳幼児教育ツール分析演習（全10講義）

III 旅館マネジメント専門家養成コース

理論的な講義や実務的（実践的）な講義を通して、旅館やホテルなどの宿泊業に関する基礎知識や組織マネジメントの方法論について学ぶ。

旅館マネジメント専門家養成コース開講科目

『基礎科目群』	
旅館マネジメント基礎科目群	
III-基 1	旅館学概論（全15講義）
III-基 2	旅館サービスマネジメント概論（全15講義）
III-基 3	旅館マネジメント実務（全10講義）

7 授業の方法

全体を通して、受講生同士のディスカッションや質問等交換、グループでのプラン立案などのアクティブラーニングを中心とした授業を行う。講義科目は、当該科目の全講義修了後に与えられた課題に対するレポート等によって成績評価を行う。演習科目は、評価結果の分析やプランの作成、実践などの実技を伴う内容によって履修認定を行う。

8 修了要件

選択したコースの受講科目を全て履修済みであること。

9 単位の授与の有無

無

10 実施体制

リカレント教育センター
センター長：1名、センター教員：5名（センター長含む）、事務職員：1名、外部講師：若干名（産学連携・協力による人的交流）

11 その他

- (1) 履修資格を満たしていない場合であっても、附属リカレント教育センターが行う個別の受講資格審査により認められた18歳以上の者に対して当該科目の受講を認める。ただし、履修証明書の交付は受けられない。
- (2) インクルーシブ教育とは障害の有無によらず共に学びあう場を設定し、その中で健常児も障害児も平等かつ包括的に教育を行うこと（韓昌完・小原愛子・矢野夏樹・青木真理恵（2013）日本の特別支援教育におけるインクルーシブ教育の現状と今後の課題に関する文献的考察—現状分析と国際比較分析を通して—。琉球大学教育学部紀要，83，113 - 120